

令和元年 7 月 17 日
中部地方整備局
港湾空港部

尾鷲港の魅力を生かしたみなとまちづくりを考えます ～尾鷲市で美しい中部のみなとまちづくりフォーラムを開催～

8月3日（土）に、三重県東紀州地域のほぼ中央に位置する尾鷲市で、第15回美しい中部のみなとまちづくりフォーラムを開催します。

フォーラムでは、重要港湾「尾鷲港」の魅力を生かした賑わい創出、地域活性化をテーマに、これからのみなとまちづくりを考えます。

1. 開催概要

- 件名：第15回美しい中部のみなとまちづくりフォーラム in おわせ
日時：令和元年8月3日（土） 13:30～15:45（受付開始 13:00～）
場所：尾鷲市立中央公民館 3階講堂（三重県尾鷲市中村町10-41）
主催者：第15回美しい中部のみなとまちづくりフォーラム実行委員会
[おわせSEAモデル協議会（尾鷲市、尾鷲商工会議所、中部電力（株）、
三重大学東紀州サテライト、三重県、都市環境ゼミナール、中部地方整備局）]
内容：① 基調講演「人が訪れる魅力的なみなとづくり」
山本 三夫 氏（（一財）みなと総合研究財団 クルーズ総合研究所 所長）
② 基調講演「熱海港における地域活性化の取組」
立見 修司 氏（熱海市観光建設部 次長）
③ パネルディスカッション

2. 添付資料

第15回美しい中部のみなとまちづくりフォーラム in おわせ リーフレット

3. 取材

- 取材を希望される方は、7月31日（水）12時までに、別紙によりFAXにてお申し込みいただくか、メールにてお問い合わせ先のメールアドレス宛に [所属・取材者・電話番号] をご送付ください。
- 当日は、講堂前の受付にて手続きをお願い致します。
- カメラ等撮影は、自由です。なお、取材の際は、報道機関名がわかる取材者証（腕章）等の着用をお願い致します。

4. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、三重県政記者クラブ、尾鷲市記者クラブ、
港湾新聞社、港湾空港タイムス、日本海事新聞社、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

<お問い合わせ先>

国土交通省中部地方整備局 港湾空港部 港湾計画課
課長補佐 藤井 大地（ふじいだいち） 係長 平野 年洋（ひらのとしひろ）
TEL：052-209-6323 FAX：052-203-9739 E-mail：pa.cbr-mmfo@mlit.go.jp

(別紙)

国土交通省 中部地方整備局 港湾計画課 宛
FAX送信先：(052) 203-9739

取材申込表

※取材をご希望の場合は、本紙に必要事項をご記入の上、
7月31日(水)12時までにFAXにて申し込みをお願いします。

所属	会社名： _____ 部署名： _____
取材者 ※同行者がいる場合は人数を ご記入ください	代表者氏名： _____ 役職： _____ 他 () 名
連絡先	TEL： () _____ メールアドレス： _____ (任意)

申込締め切り：令和元年7月31日(水) 12:00 必着

※当日は、講堂前の受付にて手続きをお願い致します。

※カメラ等撮影は、自由です。なお、取材の際は、報道機関名がわかる取材者証
(腕章)等の着用をお願い致します。

テーマ

尾鷲港の魅力を生かした 活気あふれるみなとまちづくり

令和元年 8月3日(土)

入場
無料

13:30 ~ 15:45 (開場13:00~)

会場：尾鷲市立中央公民館 3階講堂
(尾鷲市役所ななめ向かい)

基調講演

「人が訪れる魅力的なみなとづくり」

山本 三夫 氏((一財)みなと総合研究財団
クルーズ総合研究所 所長)

「熱海港における地域活性化の取組」

立見 修司氏(熱海市観光建設部 次長)

パネルディスカッション

【パネリスト】

山本 三夫 氏((一財)みなと総合研究財団
クルーズ総合研究所 所長)

立見 修司 氏(熱海市観光建設部 次長)

藤吉 利彦 氏(尾鷲市 副市長)

野田 隆代 氏(尾鷲商工会議所 女性部)

【モデレータ】

伊藤 達雄 氏(都市環境ゼミナール 会長)

尾鷲港は、三重県東紀州地域のほぼ中央、リアス式海岸を有する尾鷲湾の湾奥に位置する天然の良港であり、木材及び漁獲物の集積地として重要な役割を果たしてきました。

中部電力火力発電所の跡地利用計画「おわせSEAモデルグランドデザイン」や2019年3月のクルーズ船「にっぽん丸」寄港など、今後、尾鷲港を取り巻く環境や役割が大きく変わっていくこととなります。

本フォーラムでは、尾鷲港とその周辺地域の魅力や問題を改めて見つめなおし、港の魅力を生かした活気あふれる尾鷲のまちづくりについて考えます。

●お問合せ先 国土交通省中部地方整備局 港湾空港部 港湾計画課
電話：052-209-6323 メール：pa.cbr-mmfo@mlit.go.jp

※参加申し込みは裏面をご覧ください※

主催：第15回美しい中部のみなとまちづくりフォーラム実行委員会
[おわせSEAモデル協議会(尾鷲市、尾鷲商工会議所、中部電力(株))、
三重大学東紀州サテライト、三重県、都市環境ゼミナール、中部地方整備局]

基調講演者、パネリスト、モデレータ プロフィール



山本 三夫(やまもと みつお) (一財)みなと総合研究財団 クルーズ総合研究所 所長

1957年北海道生まれ、明治大学法学部卒業。1975年札幌国税局入局。財務省主計局総務課主計事務管理室長、千葉県山武市副市長、財務省主計局司計課長兼会計センター次長、独立行政法人造幣局東京支局長等を歴任し、2016年9月に退官。退官後、一般財団法人みなと総合研究財団研究監、2017年4月クルーズ総合研究所設立時に所長就任。



立見 修司(たつみ しゅうじ) 熱海市 観光建設部 次長

1968年生まれ。1991年日本大学法学部を卒業後、同年熱海市役所入庁。観光戦略室副室長、都市計画室副室長、観光企画室長、健康づくり室長、美しい伊豆創造センター(伊豆7市6町広域組織)出向などを経て、2016年4月より2018年3月まで観光経済課長、2018年4月より現職。2017年度国土交通省「官民連携基盤整備推進事業調査」や、熱海港客船誘致委員会事務局を担当、第三セクター「スパマリーナ熱海」取締役。



藤吉 利彦(ふじよし としひこ) 尾鷲市 副市長

1957年生まれ。1980年三重大学水産学部(現:生物資源学部)卒業後、三重県庁入庁。尾鷲水産試験場技師(現:水産研究所尾鷲研究室)、団体支援室副参事、水産経営課長、農林水産部次長、産業支援センター事業調整課長などを経て、2017年8月から現職。



野田 隆代(のだ たかよ) 尾鷲商工会議所 女性部

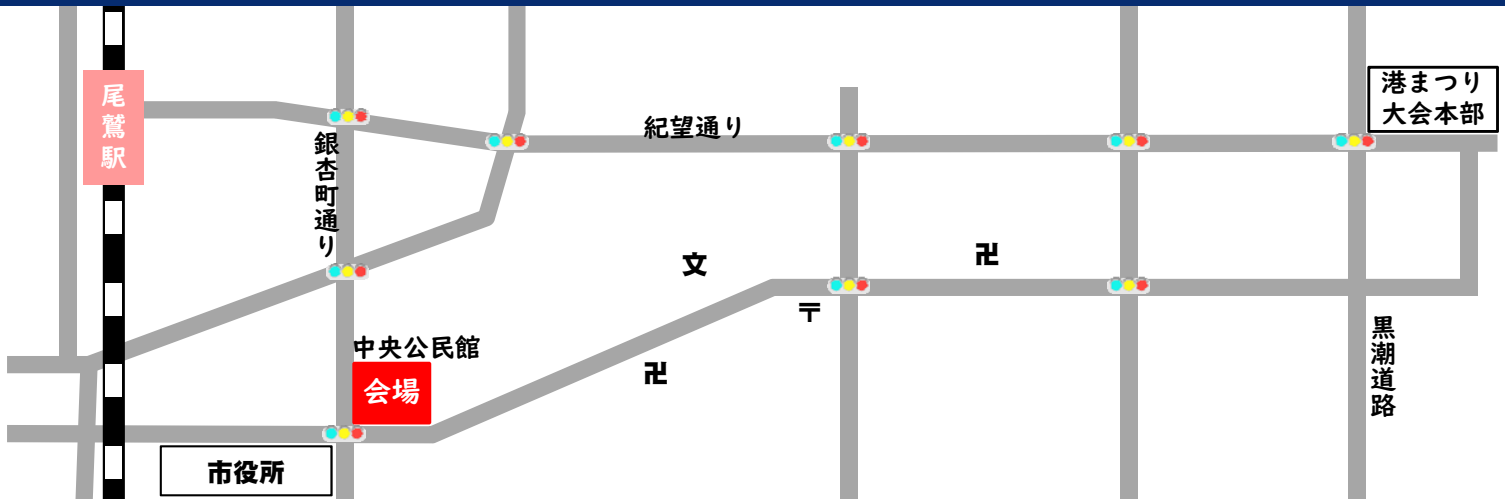
1958年生まれ。皇学館大学文学部卒業後、家業を経ながら商工会議所活動に積極的に参加。女性部会長を務めた2013年4月から2017年3月の間は、市民を巻き込みながら、地元住民にもあまり知られていない自然スポットを集めた「秘境ガイドブック 魅せます!尾鷲」の発刊を主導。現在は、世界遺産熊野古道伊勢路沿いに立地する八鬼山荒神堂の改修を手がけ、「落慶法要(本年9月28日)」の実施に向けてまい進中。



伊藤 達雄(いとう たつお) 都市環境ゼミナール 会長

1932年生まれ。1962年東京教育大学(現筑波大)大学院理学研究科博士課程修了、理学博士。三重大学教授、シカゴ大学招聘教授、三重大学人文学部長、四日市大学教授、名古屋産業大学学長を経て、現在、三重大学名誉教授、名古屋産業大学名誉学長、愛知工業大学客員教授。専門は都市地理学、地域経済学、地域政策論、環境政策論など。

会場周辺案内図



第15回 美しい中部のみなとまちづくりフォーラム 参加申込書

お申し込み期限: 令和元年7月29日(月)

◆参加をご希望の方は必要事項をご記入の上、**FAX: 052-203-9739**(中部地方整備局港湾計画課)へお申し込みください。メールにてお申し込みされる方は、件名を「参加申込」としていただき、本文に「①<住所(市区町村まで)> ②<事業所・団体名> ③<参加者氏名>」をご入力の上、**メール宛先: pa.cbr-mmfo@mlit.go.jp**へお送りください。

①事業所・団体名※個人でお申し込みの場合は記入不要です	④ F A X 番号
②住所(市区町村まで)	
③参加者氏名/フリガナ(複数名で参加される場合は全員分、または代表者を含めた参加人数)	

【個人情報の取扱について】本票に記載された個人情報は、フォーラムの参加申し込み・受付名簿作成以外の目的では使用いたしません。